

地域のつながり 四日市居場所ネットワーク通信

第1号

発行月:2024年9月

発行者:NPO 法人市民社会研究所 (四日市市委託事業)

「地域のつながり」強化事業に着手しました



第1回居場所キーパーソン会議 (7月8日)

四日市市では、今年度「地域のつながり」強化事業を実施します。これは、さまざまな課題を抱える人を、分野を超えた地域のつながりによってだれ一人取り残さないという「重層的支援体制整備事業」の一環です。

受託者のNPO 法人市民社会研究所は、この目的を実現するために、市民が取り組んでいるさまざまな居場所をつなぐ「**四日市居場所ネットワーク**」をつくろうと考えています。

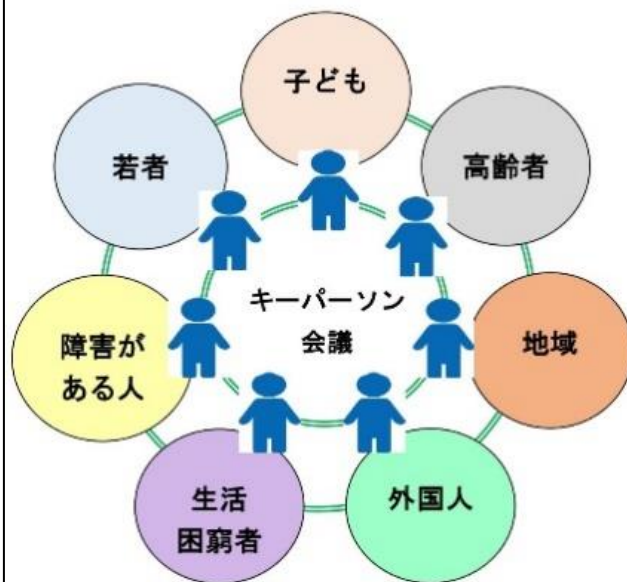
このため、さまざまな居場所を運営しているキーパーソンに呼びかけ、この事業の推進役となる「**居場所キーパーソン会議**」を設置しました。(メンバー表は最終ページ)

四日市居場所ネットワークとは

四日市市内には、子ども食堂や高齢者サロン、学童保育所、認知症カフェなど、さまざまな福祉的居場所があります。子ども、若者、高齢者、障害者、外国人、生活困窮者等のさまざまな分野の居場所がつながり、総合的な居場所ネットワークをつくりたいと思います

居場所ネットワークができると、いろんな分野の居場所どうしの交流や、居場所を運営する人どうしが、すぐに困りごとを相談したり、情報共有できたりと、様々なメリットがあります。活動の一部を掲載しましたので、興味を持たれた方は問合せ先までご連絡ください。みんなで一緒につくりましょう！

四日市居場所ネットワークのイメージ



四日市の「居場所」のご紹介

ニコニコ食堂（橋北）

NPO 法人ニコニコ共和国は、毎月第4土曜日にニコニコ食堂を開催しています。ニコニコ食堂は地域の子どもからお年寄り、家族、職場の方など、たくさんの方が来られています。

7月27日(土)のメニューは冷やし中華とかき氷。理事長の高井さんは、「月1回の開催だけど、皆さんの元気な姿が見られる場所になっている。」とおっしゃっていました。

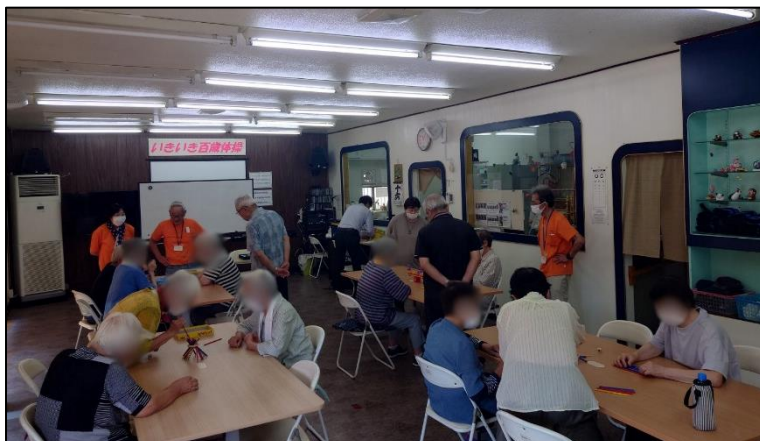


ゲームを使った新しい居場所スタイルに挑戦！

下野・生き域ネット（下野）

NPO 法人下野・生き域ネットは、介護予防日常生活支援総合事業を中心に、地域住民が安心して快適に暮らせるための様々な活動が行われています。8月16日、いつものサロン活動で「つながり事業」が提案したボードゲームをやってみました。参加者は12名。ボードゲーム指導者の川北さん（最終ページ参照）がバランスゲームを中心に用意していただき、3人ずつに分かれて行いました。後半は、5チームに分かれて「クイズ いいセン行きま SHOW!」という、お題に対して答えがまんなかになったチームが正解のゲームを行いました。チームで話し合いが行われたたくさんコミュニケーションが取れていました。

時間はあっという間に過ぎ、最後まで楽しそうな声が響き渡り、参加者の方から「楽しかった」「お友達も誘いたい」などの声がありました。



ゲームを使って居場所×居場所に挑戦！

新しい居場所の交流が生まれました

海蔵学童保育所（海蔵）

×

北勢地域若者サポートステーション ユニバーサル就労センター

海蔵学童保育所は、昭和 45 年の設立という長い歴史があり、海蔵小学校の敷地の中にある、広々とした施設です。ここに 200 名を超える異年齢の子どもたちが、兄弟姉妹のように生活を共にしており、指導員さんの専門性を活かし、舞踊、音楽、スポーツ、絵画、書道、手芸などにチャレンジしています。

（令和 6 年 7 月 13 日のイベント風景）



北勢地域若者サポートステーションは、15歳～49歳までの、仕事をしたいけれど困難な方に対し、相談や体験を行う厚生労働省委託の支援機関です。

ユニバーサル就労センターは、障害がある若者を中心に、学習や様々な体験をしながら、その人に合った働き方で働けるための支援を行う事業所です。

（ユニバーサル就労センターの授業風景）



子どもと若者のゲームを使った交流会（8月21日）

8月21日、北勢地域若者サポートステーションとユニバーサル就労センターの利用者の若者たちが、海蔵学童保育所の小学3年生の子どもたちと一緒に交流しました。子どもたちはおよそ40名、若者は10名。9つのテーブルに分かれ、それぞれのテーブルに置かれたゲームについて、指導者の川北さんからやり方を教えてもらいました。若者は子どもたちにやり方を教えたり、時には争いの仲裁をしたりしながら、テーブルを移動して一緒にゲームを楽しみました。

子どもたちは「いろんなボードゲームで遊べて楽しかった。」「お兄さんとお姉さんに、遊び方を教えてもらえてうれしかった。」等の感想がありました。

一方、普段は就職に悩んでいる若者たちは、次のような感想を書いてくれました。

- ・子どもと遊ぶなんてほかではできない体験だった
- ・こちらが元気が出るくらい、子どもはエネルギーがある
- ・自分の子ども時代をいろいろ思い出した
- ・子どもたちが自分たち大人を受け入れてくれ、ありがたかった。自分もほかの人に同じようにしようという気持ちになった
- ・すごく楽しかった。また行きたい
- ・学童職員の方のこどもとの関わり方がとても勉強になった



「地域のつながり」をつくるボードゲーム指導者のご紹介

ボードゲームとは、専用のボード（盤）上でコマを置いたり動かして遊ぶゲームの総称ですが、ひろく他者と遊ぶための道具全般も指します。人とのコミュニケーションが容易になるメリットがあります。



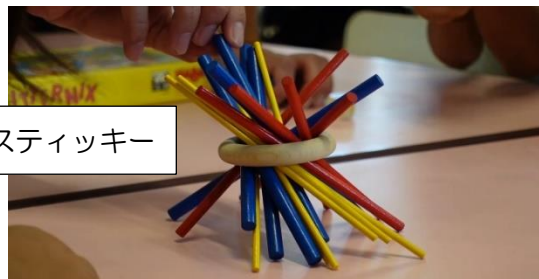
指導者

川北 輝 さん

津市NPOサポートセンター
理事長

子ども対象のイベント、認知症予防教室、自治会関係者の研修、大学での講義など、様々な対象者に合ったゲームを活用した講座やイベントを開催し、引っ張りだこの人気指導者です。

（例）どの年齢も楽しめる簡単なゲーム



スティッキー

丸いリングにカラフルな棒を刺したらスタート！サイコロを振り、出た色の棒を抜いていきます。進めていくうちにバランスが崩れ始め、崩れてリングが地面についてしまったらゲーム終了。

四日市居場所ネットワークの推進組織 【居場所キーパーソン会議】

（敬称略）

分野	キーパーソン		
子ども	上野尚子	四日市市学童保育連絡協議会 会長	海蔵学童保育所 所長
若者	若林辰也	株式会社デルタスタジオ 代表取締役	
	小林理華	北勢地域若者サポートステーション 所長	
高齢者	谷口欽衛	NPO 法人下野・生き域ネット 理事長	
	坂倉加代子	NPO 法人四日市Dサポート 理事	
障害者	水谷泉	四日市市手をつなぐ育成会 副会長	NPO 法人四日市市知的障害者育成会おのえ作業所 所長
	中島千恵	障害者相談支援センター ソシオ（社会医療法人居仁会）	
生活困窮者	原田塩子	四日市市社会福祉協議会生活支援室 室長	
外国人	樋口恵美	一般社団法人グローバルユース 理事	
地域	内田寛	羽津地区まちづくり推進協議会 会長	
	高井俊夫	NPO 法人ニコニコ共和国 理事長	
行政	四日市市役所健康福祉部福祉総務課福祉支援係（山岸幸・熊崎佑介）		
つなぎ役（事務局）	NPO 法人市民社会研究所（松井真理子・辻高宏・伊藤佳代）		

【問合せ先】

発行者：NPO 法人市民社会研究所

住 所：〒510-0086 四日市市諏訪栄町 3-4

電 話：059-355-5115 メール：ssk21ww@yahoo.co.jp

※電話は「伊勢おやき本舗」で出ます